

令和7年度第1回在宅医療・介護運営委員会研修会
『公益社団法人愛知県歯科衛生士会』とのコラボ企画
アンケート結果(R7年7月27日開催)

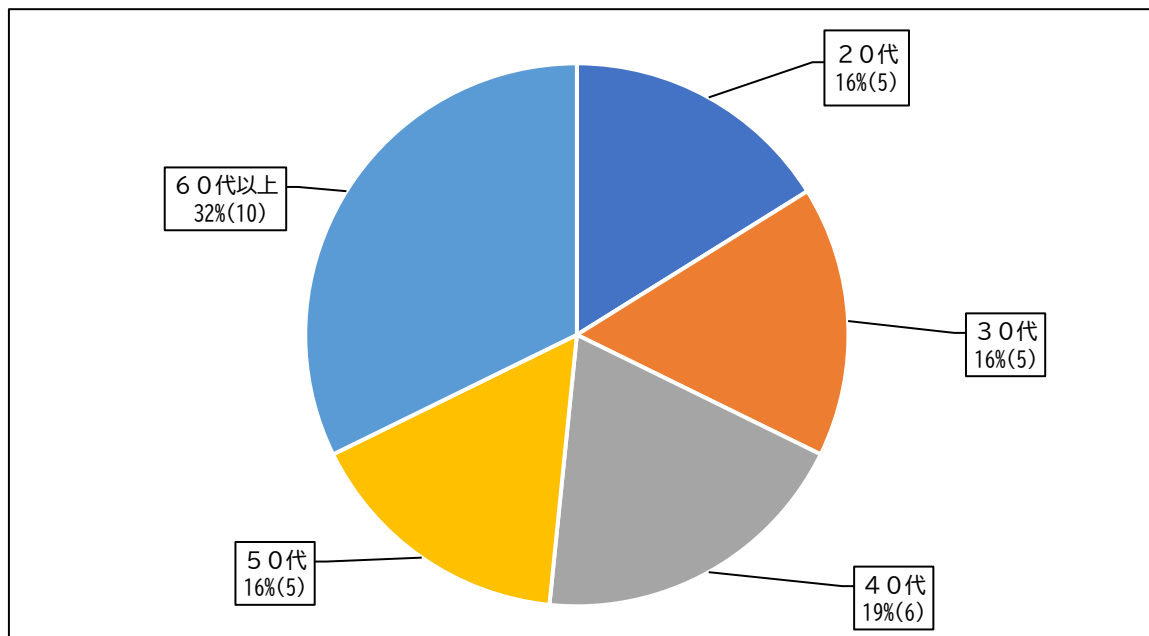
1/6

※栄養士会分

申込者数(定員30名)	54 名		
参加予定者数(※1)	37 名		
参加者数(※1)	37 名	参加率	100.0%
アンケート回答者数	31 名	アンケート回答率	83.8%

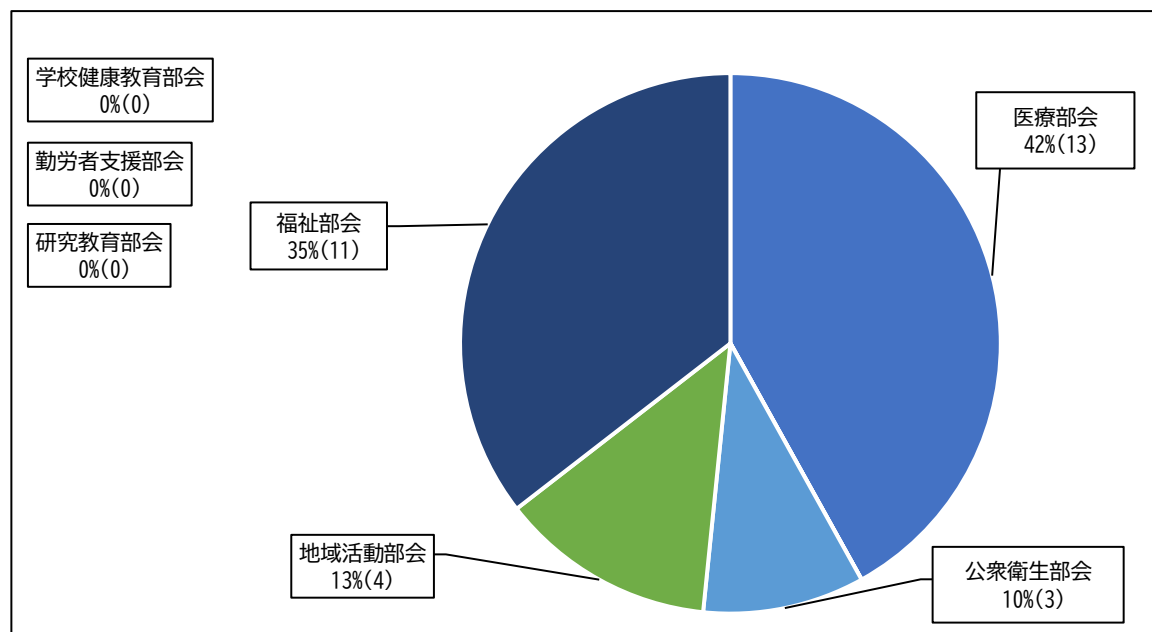
※1 スタッフ(8名)含む

1.年代についてお聞かせください。



年代	人数(人)
20代	5
30代	5
40代	6
50代	5
60代以上	10
	31

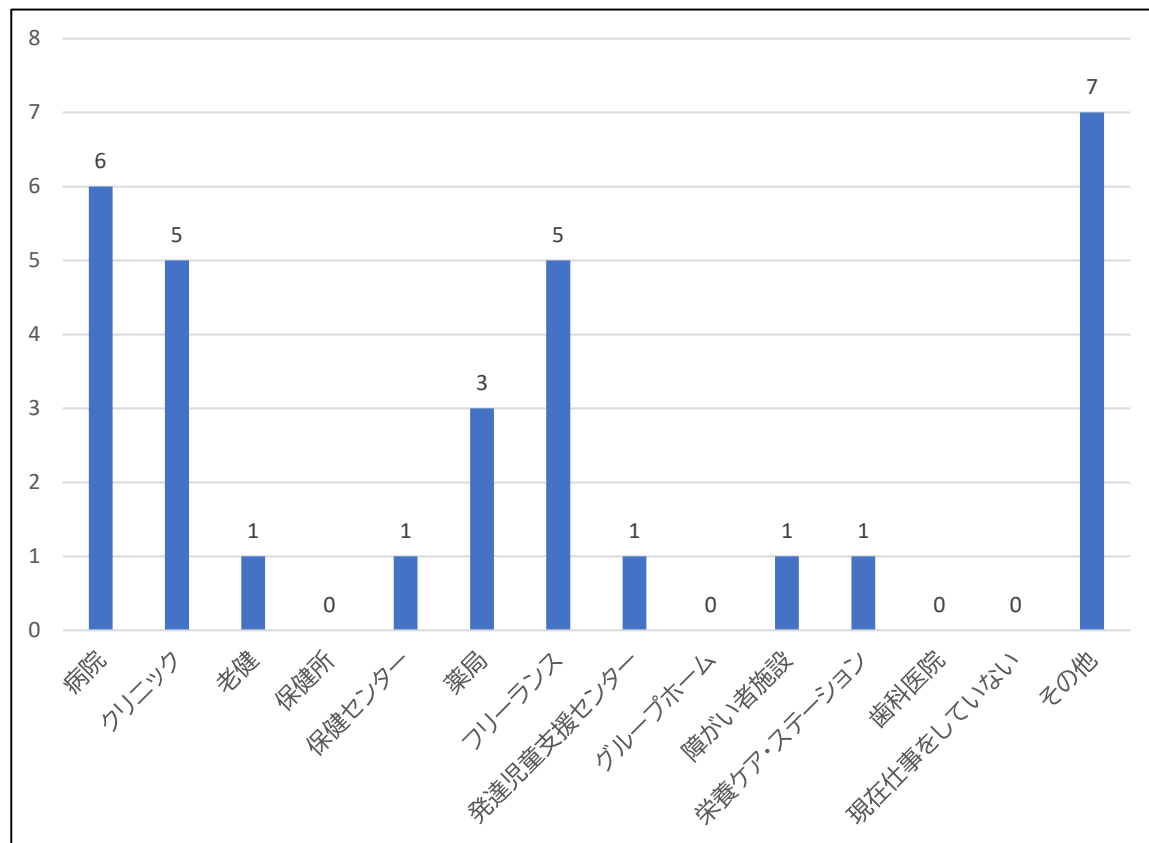
2.所属部会についてお聞かせください。



年代	人数(人)
医療部会	13
学校健康教育部会	0
勤労者支援部会	0
研究教育部会	0
公衆衛生部会	3
地域活動部会	4
福祉部会	11
	31

令和7年度第1回在宅医療・介護運営委員会研修会
『公益社団法人愛知県歯科衛生士会』とのコラボ企画
アンケート結果(R7年7月27日開催)

3.所属(勤務先)についてお聞かせください。



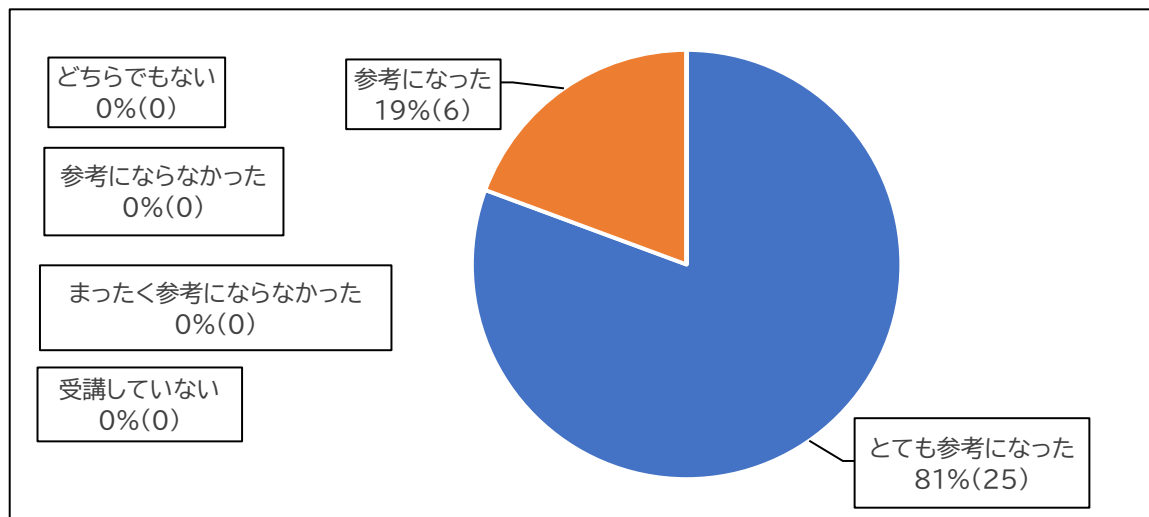
所属	人数(人)
病院	6
クリニック	5
老健	1
保健所	0
保健センター	1
薬局	3
フリーランス	5
発達児童支援センター	1
グループホーム	0
障がい者施設	1
栄養ケア・ステーション	1
歯科医院	0
現在仕事をしていない	0
その他	7
	31

※「その他」にチェックした方は、所属施設についてご記入ください。

特養(3)、学校、デイサービスや福祉事業、職能団体、本庁

4.本日の研修会の内容は参考になりましたか？

《午前:栄養士会の部「症例検討・臨床データの読み方と栄養評価・訪問栄養グッズの紹介」》



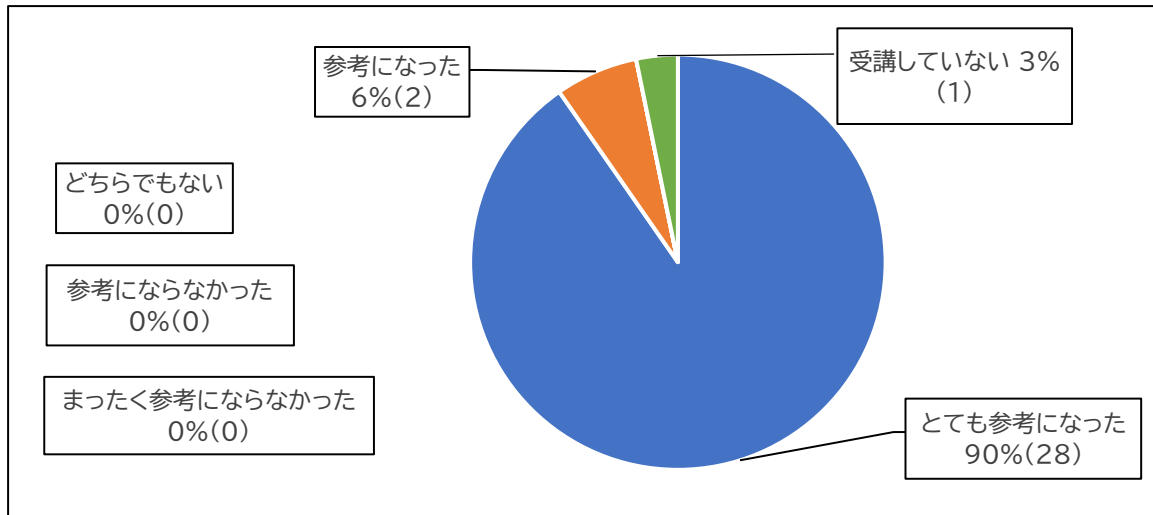
	人数(人)
とても参考になった	25
参考になった	6
どちらでもない	0
参考にならなかった	0
まったく参考にならなかった	0
受講していない	0
	31

令和7年度第1回在宅医療・介護運営委員会研修会
『公益社団法人愛知県歯科衛生士会』とのコラボ企画
アンケート結果(R7年7月27日開催)

3/6

5.本日の研修会の内容は参考になりましたか？

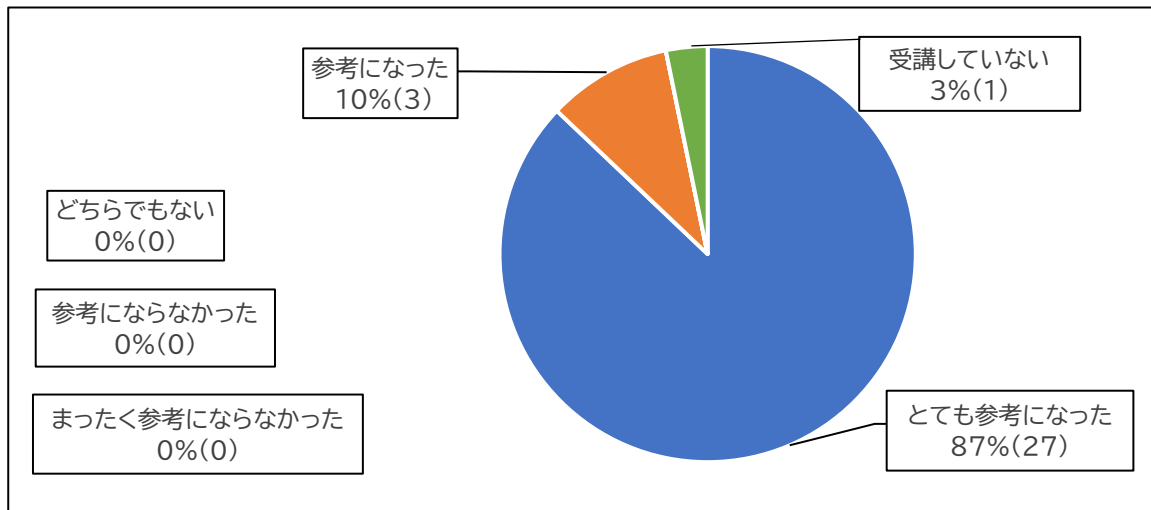
《午後:歯科衛生士会の部「在宅における口腔ケアの基礎知識 口腔機能の評価方法と対応について」》



	人数(人)
とても参考になった	28
参考になった	2
どちらでもない	0
参考にならなかった	0
まったく参考にならなかった	0
受講していない	1
	31

6.本日の研修会の内容は参考になりましたか？

《多職種での交流会》



	人数(人)
とても参考になった	27
参考になった	3
どちらでもない	0
参考にならなかった	0
まったく参考にならなかった	0
受講していない	1
	31

令和7年度第1回在宅医療・介護運営委員会研修会
『公益社団法人愛知県歯科衛生士会』とのコラボ企画
アンケート結果(R7年7月27日開催)

7. 本日の研修会についてご意見・ご感想など、ご自由にご入力ください。

オンラインで十分である
とても勉強になり今後に活かしていきたいと思いました。多職種との連携が大切だと感じました。
具体的な口腔ケアについて学ぶことができ良かったですし、何よりも歯科衛生士さんとの連携の重要性を再認識しました。
薬局勤務だとなかなか歯科の知識に触れたり、連携できる機会が少なかったりするので、すごく勉強になりました。また、同じ管理栄養士でも様々なフィールドで働いている方のお話が聞けて充実した時間になりました。
歯科衛生士と管理栄養士の共同により食べられる口で食べることが叶うと実感できました。実際に口腔ケア実習ができ難しさとポイントがわかりました。ありがとうございました。
歯科衛生士さんのご講義・演習がとても新鮮で勉強になりました。
他職種との交流が出来て良かったです。
ありがとうございました。会場の会館に博物館が有ったり、交通手段も、交流会では、歯科の現状等お聞きし 訪問での高齢者対応の実体験、知らない事が分かって、久しぶりに、学んで楽しいと帰宅しました。個人的に歯科通院が苦手でしたが、定期的に通わなくてはと感じました。コロナ禍以降、歯をマスクで隠す(患者様)方法でしたので 歯の黄ばみは気になってたけど歯石取ってないし(バイ菌?)、歯科の方々は真っ白な笑顔が多く(皆)、夏の爽やかな感じ受けました。午後の口腔ケアは高齢母に強く勧めます(笑顔を思い出し、やりたくなるように、)。本当にありがとうございました。
歯科衛生士会の研修会運営方法は見習うべき点が多くあった。例えば、運営スケジュールの一覧表などは栄養士会でも参考にしたい
歯科衛生士さんたちの熱い情熱を感じました。
事例報告の方が、とてもわかりやすかったので、学ぶことが多かったです。
口腔内の大切さを改めて知りました
交流会での歯科衛生士さんの訪問は、栄養士とは違う視点で、とても興味深いお話を聞くことができました。改めて他職種の連携は大事だと感じました。
とても充実した時間となりました。またあればぜひ参加したいです。
目標を持って頑張っていっていらっしゃる方々にお会いしたので、活力をいただきました。新しい人脈、新しい知識を得ることができてとても有意義な時間となりました。他の職種について知ることができたので、ちからを合わせてマネジメントを行っていくヒントを得ました。
管理栄養士と歯科衛生士の連携の重要性を強く感じた。
コミュニケーションや連携のためにも、対面型の研修は必要だと思いました。
近年、歯科クリニックでの管理栄養士就業が増えていて、どのように活躍していくかはまだまだ暗中模索状態だと、歯科医、衛生士、栄養士それぞれから聞いたりしています。その中で、現場にいらっしゃる衛生士と管理栄養士から生の声を聞き、お互いを理解し合うことはプラスの方向に向かうと思います。また、管理栄養士が口腔機能や身体機能について学ぶことは「いかにして安全に食べてもらうか」という問題点解決への糸口にもなると思います。これからもこのような交流会の開催を願います。
医療的ケア児の講演を聞くことができ普段は業務でも携わらないので貴重だった。自分の口腔ケアを実習できて、口腔ケアの重要性を実感できた。
歯科衛生士さん達とお話する機会は今までほとんどなかったので、とても勉強になりました。食べる為に口腔環境や機能を改善、維持することの大切さを改めて感じる機会となりました。
歯科衛生士さんとのコラボ研修会では、歯科衛生士さんの業務内容や視点を学ぶことができ、食べる口づくりには歯科衛生士さんの存在がとても重要ということを改めて実感しました。今後の業務において、お口のことで気になることがあれば歯科衛生士さんに相談しようと思います。また、交流会では在宅で活躍されている管理栄養士さんのお話を聞くことができ非常に勉強になりました。いろんな引き出しがあったり伝え方の工夫をされていたり、自分ができていないことばかりだったためこれからも勉強していかないとけないなと強く感じました。
多職種連携の醍醐味と重要性をしみじみと感じられる研修でした。
感染対策にご配慮いただき本当にありがとうございました。安心して参加することができました。
歯科衛生士の方と交流する機会が初めてでした。衛生士さんからも栄養士さんがこういうことを共有してくれたらすごくうれしいなど、栄養士が患者さんから聞き取りやすい情報が衛生士さんにも欲しい情報であることなどがとても勉強になりました。

令和7年度第1回在宅医療・介護運営委員会研修会
『公益社団法人愛知県歯科衛生士会』とのコラボ企画
アンケート結果(R7年7月27日開催)

8. 今後の研修会へのご希望(テーマ、講師など)など、ご自由にご入力ください。

栄養面では言語聴覚士さんとの連携は必要不可欠だと思います。今回のような交流の機会がありましたら参加させていただきたいです。
離乳食や医療的ケア児に関する研修会があると嬉しいです。
このような研修会は、とても有意義で他職種との共同ができ、尊い学びでした。
バイタルの基本や訪問時の緊急対応
在宅での医療保険、介護保険制度
初めての訪問で気を付けること。
他職種連携は、今回よかったので、次回は、心理面でのアプローチが聞きたいです。
STとコラボもやって欲しい
他職種合同の研修会をお願いしたいです。気づきや学びが多かったです。
栄養パトロールについて聞きたいです。
STさんや歯科衛生士さんなどを交えて対象者へのマネジメント応用編など、実践にそった内容で学べる機会があると嬉しいです。 地域には、そもそも食材が購入できない程の貧困がある場合の対応方法(生活保護へのつなげ方、支援の受け方)を教えてほしいです。
看護師と栄養士の交流会などはいかがでしょう。お互い、とても良い刺激になるかと思います。
在宅における多職種連携
今回のような他職種とのコラボ企画がまた開催されることを希望します。
自分の事業所、自分の知識の範囲内では、全然実力が無いことに気がつきました。実際に他の栄養士さんがどのように患者様と関わって訪問されているかを学べる機会があるといいなと思います。 また今回のように他職種とのコラボ研修はとても有意義だと感じたため、今度は言語聴覚士さんとコラボしたいです。
今回と同じまた内容や、次のステップへ進める内容がいいです！ 実際の身体計測
看取りについて知りたいです

9. 「地域や在宅における食支援や栄養管理」について、あなたの地域で困っている事がありましたら、ご入力ください。

デイサービスでの栄養介入
薬局管理栄養士が在宅で算定を取らないこともありケアマネさんや地域とのつながり方に未知な部分が大きいです。
要支援レベルの方に対する栄養管理
クリニックの訪問栄養に関しての無理解
マンパワー(量と質)の不足
クリニックでは患者の数がまばらで、安定しない。
食生活は、楽しく美味しうが、大事にされているのか、減塩とか野菜を目標値に近づけててと言う実行につなげることがなかなか上手くいかない。
食支援に回せる単位がない(足りない)と、ケアマネさんの嘆きを聞きます。
近隣のクリニックで、外来栄養指導2を行うために、栄養指導指示書をもらいたいのを面談を希望したところ、面談そのものを一切受けつけていない整形外科クリニックがあり、栄養指導が外部と協力して実施できるようになっていることの周知ができていないと感じている。

令和7年度第1回在宅医療・介護運営委員会研修会
『公益社団法人愛知県歯科衛生士会』とのコラボ企画
アンケート結果(R7年7月27日開催)

管理栄養士として、地域や在宅において役立てるような知識や経験がまだまだ不足していると感じるので、研修などを通じてもっと力量アップを図っていきたいと思います。
また、在宅へ訪問診療をしている医師より訪問栄養の相談があっても、本人やご家族の受け入れが消極的だすまないケースがあり、管理栄養士が在宅へ訪問して何をしてきて、どういうメリットがあるのか、アピールしていく必要性があると感じました。

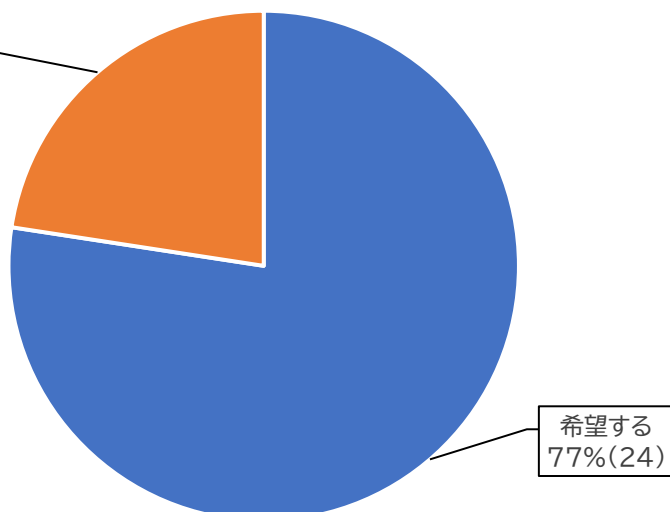
病院との連携がなかなかできないこと。

HOPEを拾いきれていない

地域にいる同職種と連携がとれない、交流がない点

10. 愛知県栄養士会在宅医療・介護運営委員会では、「訪問栄養食事指導実践研修」として同行研修を計画しております。同行研修の受講を希望しますか。

希望しない
23%(7)

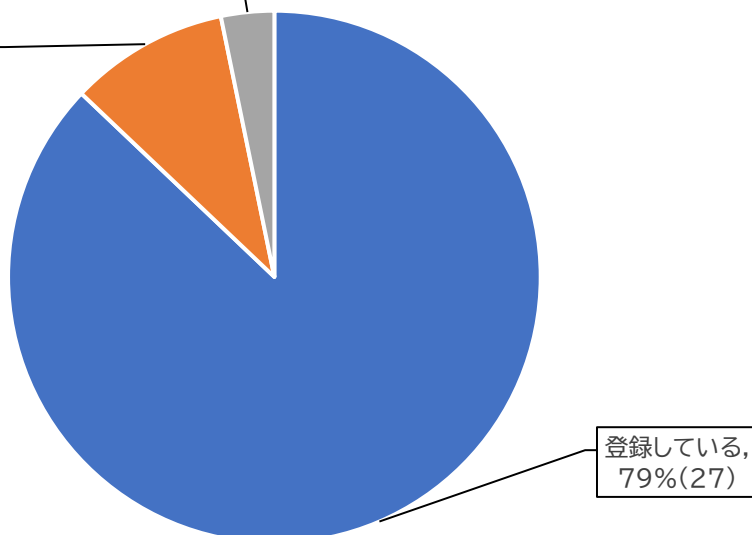


同行研修について	人数(人)
希望する	24
希望しない	7
	31

13. 愛知県栄養士会栄養ケア・ステーションに登録していますか。

登録の予定はない,
3%(1)

登録を検討中,
9%(3)



栄養CS登録状況	人数(人)
登録している	27
登録を検討中	3
登録の予定はない	1
	31